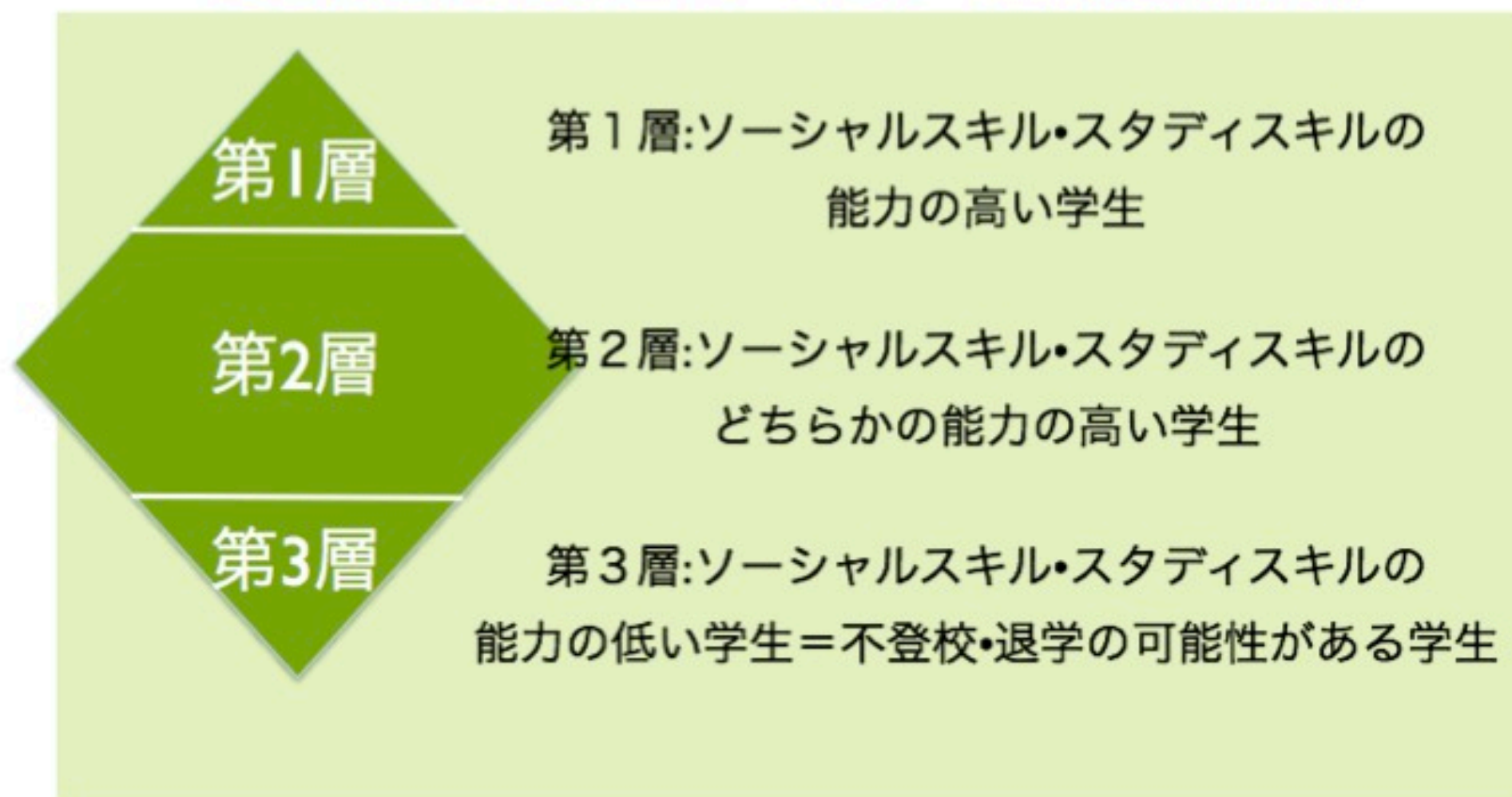


## 第48話 愛媛大学リーダーズ・スクール修了報告

- 「新時代の学生リーダー養成プログラム-愛媛大学リーダーズ・スクール(以下ELS)-」は平成19年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」に採択された事業である。
- ELSの設置目的
  - ①リーダーならびに、将来リーダーになり得る学生が、在学中(授業・ゼミ・サークル活動・ボランティア活動・大学行事等)の様々な問題を解決できるように、その経験を通じて、人間的に成長すること。
  - ②成果として、修了生が卒業後の市民社会や職場においてリーダーシップを発揮することで社会に貢献する。
  - ③第1層の学生が一般学生(第2・3層)を支援することによって、大学の諸活動を活性化すること
- 『ELSゼミナール』『ELSプロジェクト』『リーダーシップ関連授業』『学生・サークルリーダー研修』の4つのカリキュラムを修了し、最終面接に合格すると、愛媛大学リーダーズライセンスを授与される。

# 支援対象とする学生 (佐藤2005)



## 『ELSゼミナール(150分×15回夜間授業)』

教育・学生支援機構教員が担当

人数限定(30人)で公募し、定員を超える場合は、作文・面接で受講生選抜  
～授業の特徴～

- 1) 1回の授業が150分
- 2) 1泊2日の合宿研修を実施(学生が主体的に合宿を運営します)
- 3) 学生自身によるセミナーの実施
- 4) 自分史、読本の作成

授業の前半: リーダーシップに関する理論や講義や自己分析を行う

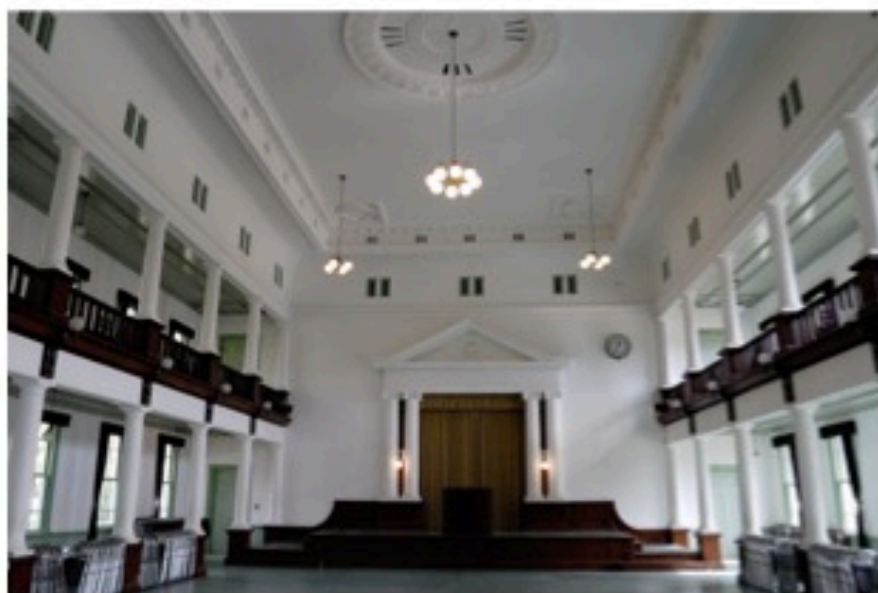
授業の中盤: 授業で学んだ、知識やスキルをいかして合宿を運営する

授業の後半: グループ学習(10人1グループ)で学生自身がリーダーシップに関する自己調整に基づくセミナーを開催する。このセミナーの内容は学生リーダー読本としてアウトプットします。

## 修了報告

- 発表者(上田)は7人目のリーダーズライセンス取得者である
- 『ELSプロジェクト』では、学内にある歴史的建造物の再生プロジェクトを行いました。(文化庁採択授業)
- ELSの目的の中に明記されている『大学の活性化』に貢献できたことは、このカリキュラムに参加した最大の成果であると考えている。

## ELSプロジェクト様子



大正24年に建てられた講堂にて、クリスマスコンサートを行う。

